

平成 26 年度事業報告書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

平成 26 年度の当協会の事業等について報告いたします。

1 会員の状況

正会員 11 社 (前年度末比±0 社)
入会 (株)リゾートフロンティア 退会 (株)ヴィラ北軽井沢
賛助会員 27 社 (前年度末比+2 社)
入会 (株)タイムシェアハワイ、(株)ヴィラ北軽井沢

2 理事会・総会の開催

- 1 平成 26 年 5 月 22 日(木)東京都渋谷区のリゾートトラスト東京ビル会議室にて、本年度第 1 回理事会並びに第 2 回通常総会を開催。

理事会議題 1 平成 25 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
2 平成 26 年度事業計画並びに収支予算案審議承認の件
3 理事・監事任期到来による新理事・監事選任の件
4 理事互選により、会長・副会長・常務理事を選出する件
総会議題 1 平成 25 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
2 平成 26 年度事業計画並びに収支予算案審議承認の件
3 理事・監事任期到来による新理事・監事選任の件
4 理事互選により、会長・副会長・常務理事決定の報告
5 新会員 (株)タイムシェアハワイ) 追認の件

総会終了後開催された懇親パーティには、総会に出席した会員各社及び役員、さらにご来賓として経済産業省商務情報政策局生活文化創造産業課観光・集客産業戦略調整官多葉田聡様、植松愛実様にもご出席いただきました。

- 2 平成 27 年 1 月 21 日(水)東京都江東区の東京ベイコート倶楽部ボールルームにて、本年度第 2 回理事会を開催。

理事会議題 1 平成 26 年度 12 月末までの事業報告と収支状況の報告
2 新年度事業計画大綱検討の件
3 リゾネットシステム協定の一部改訂の件

理事会終了後、東京ベイコート倶楽部グランドボールルームにて平成 27 年賀詞交歓会を開催しました。ご来賓の経済産業省商務情報政策局生活文化創造産業課観光・集客産業戦略調整官多葉田聡様他 1 名を含め、77 名の理事、監事、正会員、賛助会員他の方々にご出席いただきました。

3 協会の各種事業について

(1) 調査研究事業

1 国内リゾートの歴史・風土・文化財及びそのエピソード等についての調査

前年度は、ヴィラ北軽井沢エルウィング及びナクアリゾートクラブのオリビアン小豆島を訪問・見学し、ホームページに掲載しました。

今年度は、(株)セラヴィリゾート泉郷の清里高原ホテル、ネオオリエンタルリゾート八ヶ岳高原、ホテルアンビエント蓼科、ホテルアンビエント安曇野を訪問・見学し、その地域の歴史等魅力を大谷理事の手助けによりホームページに掲載しました。

(2) 研修会・セミナー事業

1 スタッフ・キャリアアップ研修会

1 月 22 日（木）東京都新宿区のサンメンバーズ東京新宿のコンベンションホールにて開催。今回は現在のサービス産業を取り巻く事業環境を理解し、今後のビジネスパーソンとして必要とされる「ビジネス実践スキル」を習得し、現場で活用することを目的に、それぞれのキャリア開発の方向性と「顧客対応力」「実行力」を高めるための「セルフモチベート・スキル」を習得することを目指す趣旨のもの。7 社 25 名の参加でグループワーク中心の研修を実施し、4 時間半の研修があつという間に終わってしまった感じの密度の濃い研修内容でした。講師はアクティブプラス(株)の石月基樹先生でした。

2 支配人研修会

2 月 25 日（火）～26 日（水）リゾートトラスト(株)のリゾーピア熱海にて、「現場の顧客対応力・実行力を強化する」というテーマで、ホテルの支配人及び本部の管理職階の方々を対象に 1 泊 2 日で開催。特に、サービス産業における「マネジメント基礎スキル」「モチベーションマネジメント基本スキル」の習得を目的としたもので、グループワークで実施しましたが、内容が濃く、忙しすぎて時間が短すぎるという指摘が参加者より多数寄せられました。他の管理者たちにもぜひ受講させたいと、思わせるほど好評でした。講師は、スタッフ・キャリアアップ研修会と同じアクティブプラス(株)の石月先生でした。参加者は 5 社 19 名でした。

(3) 情報の収集と提供事業

1 ホームページによる情報提供について

イ ホームページの更新

大谷理事を中心にホームページを盛り上げております。閲覧数を増やすため、極力更新頻度を上げ、木村讚前常務理事のコラム等ホームページ情報を随時更新しております。さらに前年に続き、「クラブライフのご提案」として、協会加盟会社のホテル訪問のレポートを大谷理事に執筆をお願いし掲載しました。

ロ 協会ホームページへのアクセス数

4月	2,144	8月	2,715	12月	2,076
5月	2,350	9月	2,597	1月	2,538
6月	2,338	10月	2,560	2月	2,322
7月	2,987	11月	2,346	3月	2,717

統計対象サイト上では前年と比べて約1千件増加の2万9,800回でした。ホームページのカウンター上では、10万回を超えております。

2 タイムシェア研究会の開催

8月18日(月)にタイムシェア研究会を開催しました。これは、国民生活センターからの報道発表資料「ハワイのタイムシェア購入は慎重に」の検証を実施し、この内容については、ホームページに掲載しております。

出席者は、調査研究委員長の鈴木健史副会長(㈱鴨川グランドホテル社長)、座長をお願いした大谷毅理事(信州大学名誉教授)をはじめ、朽本監事(㈱萬代・社長)、佐藤監事(あずさ監査法人・パートナー)、㈱エンゼル・安藤社長、宍戸部長、㈱セラヴィリゾート泉郷・関部長、齊藤課長、タイムシェアリセーラー業者から㈱タイムシェアハワイ・檜原社長、㈱e会員権・大高ディレクター、今泉常務理事の11名でした。

さらに㈱リゾートハワイの野田省三社長からも内容について、誌上コメントをいただきました。

3 クラブとの共催イベントの実施

今年度も紀州鉄道の協力を得て、実施いたしました。

* 6月20日(金)

「おもちゃのブリキ博物館の鑑賞と横須賀・佐島邸訪問」と題する紀鉄クラブとのバスツアー共催イベント。

館長の北原照久氏の解説付きで鑑賞、バスの移動のなかでの講演と佐島邸でのミニコンサート等盛りだくさんの内容でした。

参加者は 50 名でした。(内 他クラブからの参加者はなし)

* 12月3日(水)

「霞会館で開催する伝統文化映像鑑賞会」と題する紀鉄クラブとの共催イベント。

霞が関ビル内の旧華族会館の霞会館にて、解説を聞きながら「流鏝馬」「騎馬打毬」等の伝統行事の映像を鑑賞する会で、参加者は 29 名でした。(内 他クラブからの参加者はなし)

(4) リゾネット・ジョイネット事業

1 リゾネット事業について

26 年度のリゾネット参加施設は 11 社、国内 25 施設 (-1) でスタート。7 月後半から、リゾートトラスト社より那須白河ザ・ロッジと鳴門ザ・ロッジの 2 施設の提供を受け、27 施設になりました。

本年度の利用者数は、4~6 月までは+50%と好調でしたが、7 月以降、天候の不順や火山の噴火等自然災害の影響もあり、特に冬場の落ち込みが厳しく、最終的に 3.1%の増加という実績推移でした。

本年度のリゾネット利用者数(受入ベース)

	件数		件数		件数
4月	98	8月	166	12月	60
5月	125	9月	113	1月	51
6月	116	10月	147	2月	34
7月	132	11月	77	3月	111

本年度の利用者数合計 1,230 名(前年同期比 +3.1%)

前年同期利用者数合計 1,193 名

現状で送客の多いクラブは鴨川リゾートクラブ、セラヴィリゾート泉郷、ナクアリリゾートクラブ、紀鉄クラブ、マグナリゾートクラブで、受入の多い施設は、ヴィラ北軽井沢エルウィング、リゾートピア熱海、ホテルエピナール那須、伊東パウエル、那須塩原ホテルの順になっております。

2 ジョイネット事業について

ジョイネット事業については現状維持で、パンフレットは作成せず、ホームページのみの掲載で実施しました。

本事業は、本年度をもって一時休止することが決定しており、提携先各社に通知しました。

(5) 消費者相談事業

取扱件数、内容は別紙のとおりです。

今年度の特徴としては、特定の会社の会員権の処分についての相談が増加しました。会員権を購入して20年以上経過した会員の高齢化や病気に伴うものが多く、リゾート事業運営会社としても今後ますます頭を悩ませる問題となりそうです。また、リゾート会員権の仲介業者に関する相談もありましたし、協会のタイムシェア研究の実績から、海外タイムシェアに関する問い合わせもありました。130件の相談の内、消費者センター（国民生活センターを含む）からの相談が39件（30%）ありました。

今年度は、国民生活センターのタイムシェアに関する報道発表資料について、その内容を検証し消費者に理解していただけるよう、タイムシェア研究会を開催し、ホームページに分かりやすく解説しました。

4 その他の事項

4月21日(月)、5月8日(木) 平成25年度の会計監査（佐藤監事・朽本監事）を実施。

6月11日(水) 内閣府公益認定等委員会へ「平成25年度の事業報告、収支決算報告、平成26年度の事業計画、収支予算」をネットで提出。

10月21日(火) 本年度上期の会計監査を実施。（佐藤監事）

以上